運用補助・蒸気機関車の運転に関する技術業務等を行う。また指定された者は機関助士の職務を行う。

機関士は機関士見習として3月以上機関士の職務を練習したのち機関車運転の実務試験に合格したものから採用する。

機関士は労働基準法による汽缶士(きかんし)の免許を必要とする。(加藤誠次郎)

きかんしうんてんほうこく　機関士運転報告　機関士が機関車の運転仕業に従事したときは，**機関士運転報告取扱手続**により運転報告に定められた項目を記載，機関車所属区長に提出しなければならない。記載項目は機関車形式番号，仕業番号，列車番号，列車種別に走行キロ，牽引(けんいん)両数(現車・換算)，換算車両キロおよび使用燃料を線区別・鉄道管理局所管区域別に記載する。機関区においてはこの報告を精査し取りまとめて乙片は自区の控に，甲片は鉄道管理局長に送付する。局および機関区においては，この報告を資料として各種の成績を調査する，いわゆる運転統計の基礎材料となるものである。(一条幸夫)

きかんしみならい　機関士見習　主として機関区におかれる職で，機関士見習になった最初の3箇月は機関車に乗込み，機関士の指導の下に機関士の職務練習に従事し，見習期間を終って機関車運転の実務試験に合格したのちは，機関助士の職務を行うとともに，とくに命ぜられたときは機関士の職務を行うことができるものである。

機関士見習の制度は，機関助士から機関士に進む1つの階ていとして定められているので，機関助士から正規の養成を経て昇職する際には，必ずいったん機関士見習に採用され，これから機関士へと進むことになっている。このような見習の制度により，乗務員の弾力性に富んだ運用が可能となり，要員操配上大いなる効果をあげている。機関士見習は機関助士で，高等学校卒業者は2年9月以上・中学校卒業者は3年9月以上その職務に従事した後鉄道教習所の機関士科を修了したものから採用

機　関　士　運　転　報　告

甲号表　A(通常運転)　B(乗継運転)　**機関士運転報告(甲片)**　機関区長

列車番号	列車種別	線名	局名	停車場名	区間粁	実際時分 発	実際時分 着	牽引定数	牽引両数 客車 現車	牽引両数 客車 換算	牽引両数 貨車 現車	牽引両数 貨車 換算	換算客貨車粁 客車	換算客貨車粁 貨車	燃料消費量	入換 仕業時分	入換 粁	入換 燃料消費量	記事

月日天候	仕業番号	機関車型式	機関車番号	換算両数

列車種別		旅客	貨物	混合		補旅	補貨	補混		単行	入換	合計	記事
機関車粁													
換算両粁	機関車												
	客車												
	貨車												
	合計												

受入区	炭名											実数	換算
合計													

甲号表　A(通常運転)　B(乗継運転)　**機関士運転報告(乙片)**　機関区長

仕業番号	月日天候	列車番号	列車種別	運転区間	機関区名	機関士氏名	機関助手氏名	乗務者氏名	燃料消費量	記事
	月日									
機関車型式	月日									
	月日									
機関車番号	月日									
	月日									
換算両数	月日									
	月日									

列車種別		旅客	貨物	混合		補旅	補貨	補混		単行	入換	合計	記事
機関車粁													
換算両粁	機関車												
	客車												
	貨車												
	合計												

受入区	炭名											実数	換算
合計													

水貯 転25 B4 上更50斤 保存6ヶ月 (28.4 きど納)